

平成24年度 第1回岡山県文化振興審議会 次第

日時：平成24年6月6日（水）

14時～

場所：三光荘パブリゾン

1 開 会

2 議 題

おかやま文化振興ビジョンの中間見直しについて

3 その他

(1) 岡山芸術回廊について

(2) 第2回おかやま文化フォーラムについて

4 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

氏 名	役 職 名
あさの あつこ	作家
赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科准教授
白井 洋輔	吉備国際大学文化財学部教授
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館理事長
神崎 宣武	民俗学者
越宗 孝昌	山陽新聞社代表取締役社長
佐々木 英代	岡山県演奏家協会副会長
澤田 虚遊	岡山県書道連盟会長
杉山 知子	美作大学生活科学部教授
田野 智子	NPO法人ハート・アート・おかやま代表理事

(会長)

(副会長)

敬称略 50音順

平成24年度 第1回岡山県文化振興審議会

配 付 資 料

○資 料

- | | | | |
|---|-------------------------|---|------|
| 1 | 文化振興にかかるビジョン策定等の流れ | … | P 1 |
| 2 | 現行ビジョン施策体系 | … | P 2 |
| 3 | ビジョン策定後の主な成果と今後の課題等 | … | P 3 |
| 4 | 主な文化振興関連施策（平成24年度） | … | P 6 |
| 5 | 「第25回国民文化祭・おかやま2010」の成果 | … | P 13 |
| 6 | 第3次おかやま夢づくりプラン（文化関係抜粋） | … | P 14 |
| 7 | ビジョン見直しの方向性について(案) | … | P 15 |
| 8 | ビジョン見直しのスケジュール(案) | … | P 16 |

○参考資料

- | | | | |
|---|----------------|---|------|
| 1 | 岡山芸術回廊の開催概要 | … | P 17 |
| 2 | 第2回おかやま文化フォーラム | … | P 19 |

○別 冊

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 第3次おかやま夢づくりプラン概要版 |
| 2 | 岡山芸術回廊ポスターデザイン |

文化振興にかかるとビジョン策定等の流れ

H16

県立図書館

H17

新世紀おかやま夢づくりプラン(H14~H18)
岡山県文化振興ビジョン(H12~H19)

岡山県文化連盟設立

ルネスホール

天神山文化プラザ

H18

岡山県文化振興基本条例施行

H19

H20

H21

H22

H23

H24

H25

H26

H27

H28

H29

新おかやま夢づくりプラン

おかやま
文化振興
ビジョン
(H20~H29)

第25回国民文化祭
おかやま2010

県民文化祭の更なる充実

地域フェスティバル
文化がまちに出る！プロジェクト

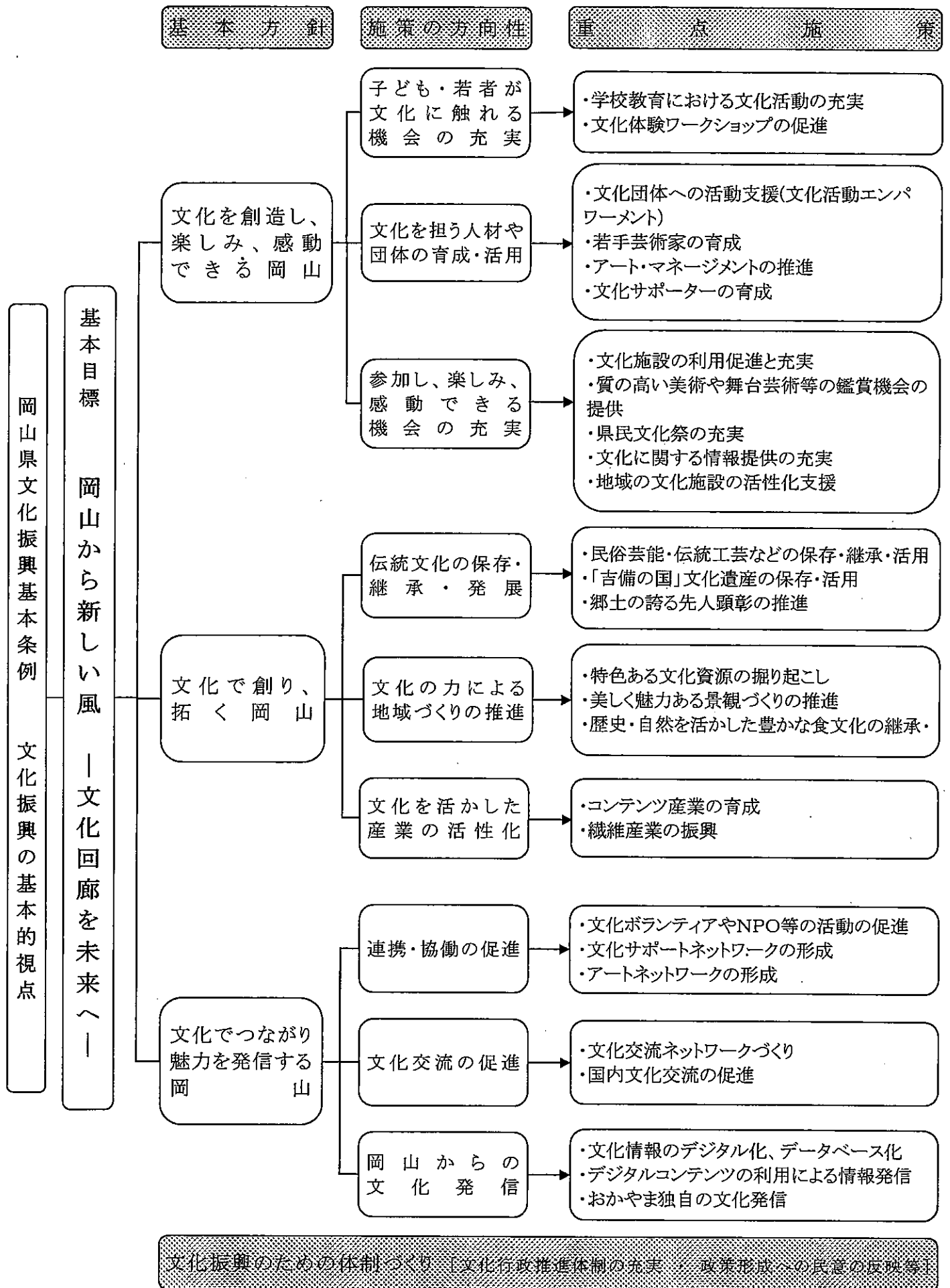
岡山
芸術回廊

文化フォーラム
備前
備中
美作

中間見直し

第3次おかやま夢づくりプラン

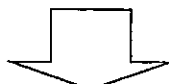
お か や ま 文 化 振 興 ビ ジ ョ ン 施 策 体 系



ビジョン策定後の主な成果と今後の課題等

○子ども・若者が文化に触れる機会の充実

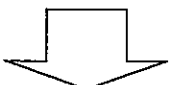
- ・国民文化祭では、公募により選ばれた若者たちが「あっ晴れ組」として、オープニングフェスティバルへ出演したり、舞台の進行・転換役として活躍した。
- ・県内の小中学生を対象に「グッド・スタート・ミュージアム事業」を実施し、美術館における鑑賞体験活動を通じて「郷土の美術」や「岡山の芸術」に関する理解促進を図った。
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団による「Children's Live Tour」の開催を支援し、幼い頃から生のオーケストラの音楽に触れる機会を提供した。
- ・県立美術館の学芸員が出向く「出前県立美術館」や県立博物館の学芸員が出向く「出前授業」などのアウトリーチ活動を行い、文化に触れる機会の充実を図った。



本物の文化に触れたり、創造活動に参加できる機会の更なる充実が必要

○文化を担う人材や団体の育成・活用

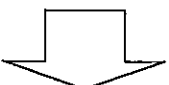
- ・国民文化祭では、美術展などでの体験教室やワークショップを通じて、文化の楽しさを体感共有することにより担い手の裾野拡大を図った。
- ・子どもたちが文化に親しみ、文化への関心を持つ契機となるよう、文化活動体験やワークショップ、学校での文化出前講座への講師派遣を行う「あっ晴れ！おかやま子どもみらい塾」事業を実施し、将来の地域文化の担い手育成を図った。
- ・公益法人化した文化連盟と連携協力し、県レベルの文化団体や市町村文化協会の活動支援に取り組んだ。
- ・岡山県にゆかりのある新進気鋭の若手美術家に「I氏賞」を贈呈し、発表の場を提供するなど、次世代を担う若手芸術家の育成を図るとともに、文化の振興に地道に取り組んできた人々を顕彰する「あっ晴れ！おかやま地域文化活動表彰」事業を開始した。



文化活動を担う人材や民間団体等の更なる育成・活用が必要

○参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

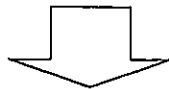
- ・国民文化祭では、ミュージカルや能・狂言などで若者や地域の住民が初めて舞台芸術に挑戦するなど、新たな文化創造に貢献した。
- ・国民文化祭の成果を継承する中で、岡山カルチャーゾーン一帯でのアート展示や演劇、ダンス、音楽などを行う「岡山芸術回廊」や、古代吉備をテーマに本県の文化の源を考える「おかやま文化フォーラム」を実施するなど、県民文化祭の充実を図った。
- ・県立美術館では、各種講座やワークショップなどを行う「こんにちは美術館」事業を実施し、美術や美術作品への理解促進を図った。
- ・開館20年となった県立美術館でUD化を伴うリニューアル工事を実施したほか、ルネスホールでは新たに金庫棟を整備するなど、文化施設の充実を図るとともに、利用の促進に努めた。



質の高い文化を鑑賞できたり、創造活動へ参加しやすい環境整備が必要

○伝統文化の保存・継承・発展

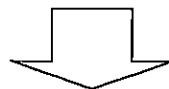
- ・国民文化祭では、備前焼の産地や農村歌舞伎伝承の地における祭典、神楽フェスティバルや盆踊りフェスティバルなどの開催を通じて、伝統文化の保存・継承に対する認識の向上を図った。
- ・伝統工芸展や民俗芸能大会を開催し、発表機会の拡大を図るとともに、後継者の育成を推進した。
- ・郷土出身の偉大な政治家犬養木堂翁や日中国交回復に大きな役割を果たした岡崎嘉平太氏の記念館を公開し、郷土の先人の功績を伝えた。
- ・岡山県郷土文化財団が取り組む文化財等の保護活用事業を支援、育成した。
- ・旧閑谷学校の世界遺産登録推進に向けた取組への支援を行った。



伝統文化の適切な保存はもとより、次世代への継承と現代での活用が必要

○文化の力による地域づくりの推進

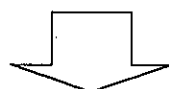
- ・国民文化祭では、郷土ゆかりの先人の業績にちなむ文芸祭、科学フェスティバルや囲碁・将棋フェスティバルなどを開催し、郷土への誇り、愛着心の高揚を図るとともに、ゆかりの先人を取り上げた冊子の刊行やシンポジウムの開催などを通じて、郷土の歴史や文化に対する県民の認識を深めた。
- ・国民文化祭の成果を継承する中で、岡山カルチャーゾーン一帯でのアート展示や演劇、ダンス、音楽などを行う「岡山芸術回廊」や、各県民局単位で実施する地域フェスティバル等を、地域住民、まちづくりに取り組む団体、芸術家等との協働により企画・実施するなど、文化を核とした地域づくりに取り組んだ。
- ・景観モデル地区の指定や指導、市町村景観対策の推進など総合的な景観対策に取り組んだ。



文化の力を活用した新たな創造活動の活性化と地域の賑わいの創出が必要

○文化を活かした産業の活性化

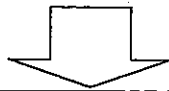
- ・我が町自慢の文化イベントや全国に誇る職人の技などを、岡山ならではのコンテンツとしてインターネットライブ配信し、県内のコンテンツ産業の振興やコンテンツによる地域活性化を図った。
- ・デニム・ジーンズなど高付加価値繊維製品を製造する県内繊維企業が、海外マーケットへの売り込みを目指して、海外の展示商談会へ出展に要する経費を補助することにより、「岡山デニム」の海外市場での販路拡大を図った。
- ・地域における体験・学習・交流型観光素材と県内のご当地グルメを結び付けた新たな着地型の観光プログラム開発を支援した。



地域の魅力を効果的に発信する産業の更なる振興・育成が必要

○連携・協働の推進

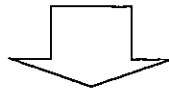
- ・国民文化祭では、公募により開催した「あつ晴れ！おかやま提案事業」において、県民が主体的、積極的に企画・運営に取り組むとともに、「文化がまちに出る！プロジェクト」においては、多様な団体との協働により盛り上げを図った。
- ・国民文化祭で培ったネットワークを生かし、県民文化祭の地域フェスティバルや岡山芸術回廊では地元NPOや文化団体等との協働による企画・実施を行い、更なるネットワークの強化に取り組んだ。
- ・美術館や博物館が相互に連携する「岡山県博物館協議会」、「岡山カルチャーゾーン連絡協議会」、「せとうち美術館ネットワーク」を活用して、共通割引券やスタンプラリーに取り組むなど、魅力の発信と利用促進に努めた。
- ・県立美術館では、登録されたボランティアが来館者に対する館内施設の案内や誘導、美術品の概要や展示品の解説などを行って、県民と美術館の橋渡しをするとともに、美術館活動の円滑な運営を支援した。



文化活動に関わる様々な主体との更なるネットワークづくりが必要

○文化交流の促進

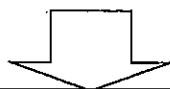
- ・国民文化祭の開催を機に、他県団体との交流の輪が広がるとともに、分野を超えた団体間の競演が実現し、県民文化祭に引き継がれた。
- ・中四国文化の集いを中四国各県と共同開催するとともに、国民文化祭や中国・四国ブロック民俗芸能大会への派遣を支援した。
- ・中国の江西省、南オーストラリア州、インドのマハーラーシュトラ州地域、韓国の慶尚南道と、県民と協働して、幅広い分野での交流を進めた。
- ・岡山芸術回廊で、ドイツアーティストのレジデンスや地元アーティストとの交流を行うなど、文化による国際交流を促進した。



地域の文化資源を活用した地域間交流や国際的な交流の促進が必要

○岡山からの文化発信

- ・国民文化祭では、本県の優れた文化を再発見、再認識するとともに、全国へその魅力を発信した。
- ・県在住、県出身作家の活動や県文化施設の情報等の文化情報を発信するラジオ番組を新たに始めた。
- ・古代山城「鬼城山」内部の調査を行い、古代吉備国の歴史や伝統を全国に情報発信した。
- ・岡山が舞台となる作品や岡山県出身の人物・自然・文化・風土など題材とした文学作品を全国から募集する「内田百閒文学賞」を実施した。
- ・県内の文化施設や文化イベントの情報等を紹介する「おかやま文化の駅」ホームページや国・県指定文化財を紹介する「おかやまの文化財」ホームページを立ち上げ、逐次新たな情報を発信している。



文化情報の更なる発信と岡山のイメージアップにつながる取組が必要

主な文化振興関連施策（平成24年度）

1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

(注) 下表中※印をつけた事業は、P3～P5の「ビジョン策定後の主な成果」として記載したもの

(1) 子ども、若者が文化に触れる機会の充実

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
※ Children's Live Tour	幼い頃から生のオーケストラの音楽に触れる機会を設けるため岡山フィルハーモニック管弦楽団の巡回公演を支援する。	文化振興課	5,845
※ グッド・スタート・ミュージアム事業	県内の小中学生に「郷土の美術」「岡山の芸術」について鑑賞体験活動を通じて理解を深めてもらい、美術館体験を通じて文化を守り、育て、継承していく人材を育てる。	文化振興課	3,409
天神山文化プラザワークショップシリーズ	美術・工芸・伝統芸能などのワークショップを開催する。	文化振興課	630
※ 出前県立美術館	学校、公民館の趣味の会、文化講座等を活用し、相手方からの要請に基づき学芸員が地域に出向いて解説などを行う。	文化振興課	649
学校文化活動促進(音楽公演)	岡山フィルハーモニック管弦楽団による学校公演	生涯学習課	3,170
学校文化活動促進(演劇公演)	学校施設等を会場に優秀芸術鑑賞の場の提供	生涯学習課	1,523
学校文化活動促進 高等学校総合文化祭	岡山県高等学校総合文化祭共催 全国高等学校総合文化祭出演出品費補助	生涯学習課	4,030
郷土の文化遺産再発見事業	岡山ゆかりの人物、岡山県下の歴史事象に関する文化財をテーマ別に照会するガイドブックを発行する。	文化財課	1,419
吉備の国ジュニア歴史スクール	小学生を対象に、テーマ別の見学コースをめぐり、文化財への理解関心を高める。	文化財課	—

(2) 文化を担う人材や団体の育成と活用

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
岡山芸術文化賞	過去1年間の優れた文化活動の実績が認められる個人又は団体を顕彰し、文化の振興を図る。	文化振興課	994
※ 岡山県新進美術家育成支援事業「I氏賞」	岡山県にゆかりのある若手の美術家を育成するための賞を設け、次代を担うと期待される美術家の創作活動を支援する。	文化振興課	13,431
県立美術館普及教育事業	学芸員による美術館講座や美術館ニュースの発行等を行う。	文化振興課	3,319
岡山県美術展覧会	日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻、デザインの7部門について、県内公募を行い優秀作品を巡回展示する。	文化振興課	3,000
天神山文化プラザアートの今・岡山展	文化プラザ他県内2か所の巡回展により、現代岡山を代表する美術作家の作品の紹介を行う。	文化振興課	2,231
天神山文化プラザ天プラセレクション	岡山県ゆかりの美術作家を個展形式で紹介する。	文化振興課	1,700
※ あっ晴れ！おかやま子どもみらい塾	県文化連盟の文化人材バンクに登録された講師を派遣し、芸術文化の学校出前講座を行ったり、文化団体が行う公演・ワークショップ事業等の開催を支援する。	文化振興課	5,049

文化団体育成強化事業	分野別県レベル文化団体が、活動の底上げを図り、次世代育成のため行う文化力強化事業や、周年記念、全国大会誘致を支援する。	文化振興課	1,000
岡山県文化特別顕彰	文化の分野で国内又は国外で顕著な功績を挙げるなど岡山県を全国にアピールし、県民に多くの感動を与えた個人又は団体を顕彰する。	文化振興課	—
岡山県文化賞・同奨励賞	岡山県の文化の向上に著しく貢献したもの及び、貢献し業績を奨励するに値するものへ賞を授与する。	文化振興課	1,599
※ あっ晴れ！おかやま地域文化活動表彰	地域における文化振興に長年地道に取り組んできた個人・団体を表彰する。	文化振興課	1,402
岡山県文学選奨	県民の文芸創作活動を奨励するため、小説中編、小説短編、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、童話の8部門を公募する。	文化振興課	3,852
県後援名義付与	各種文化関係事業へ岡山県名義の後援を行っている。	文化振興課	—

(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
県立記録資料館 記録資料館運営費	ボランティアや同好会による活動の場の提供等を行う。	総務学事課	6
県立記録資料館 記録資料館活動費	記録資料館所蔵資料展、古文書解説講座、企画展記念講演会、アーカイブズ週間行事、記録と資料のセミナー等の開催及び記録資料館だよりやホームページによる情報提供等を行う。	総務学事課	1,442
※ おかやま県民文化祭開催	おかやま県民文化祭を開催する。(9月～11月)	文化振興課	38,683
※ 県民文化祭特別事業「岡山芸術回廊」	岡山芸術回廊を開催する。(11/3～12/2)	文化振興課	44,598
県立美術館常設展運営・企画展事業	県立美術館常設展時を行う。 県立美術館企画展示を行う。(年6～7展示)	文化振興課	75,195
※ こんにちは美術館事業	美術や美術作品への理解を深めてもらう目的で、“つくる(製作)”に関わる活動や“みる(鑑賞)”に関わる活動を主体的に体験してもらうための事業を行う。	文化振興課	2,670
天神山文化プラザ天プラホールセレクション	岡山で鑑賞機会が少ない優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。(年4回程度)	文化振興課	2,271
天神山文化プラザ運営費	天神山文化プラザの運営、貸し館業務	文化振興課	77,500
※ おかやま文化フォーラム	郷土が誇る遺構や遺跡を通して古代吉備の歴史を振り返るとともに、岡山の文化の源を考えるフォーラムを開催する。	文化振興課	1,060
おかやま旧日銀ホール運営費	おかやま旧日銀ホールの管理運営に要する経費	文化振興課	30,508
全国健康福祉祭参加事業	全国健康福祉祭へ岡山県選手団を派遣する。 (スポーツ・文化交流大会)	長寿社会課	9,674
後楽園初春祭	後楽園の年始めの行事。琴や尺八等の演奏、タンチョウの放鳥などが行われる。(元旦～1月3日)	都市計画課	—
後楽園茶つき祭	後楽園内の茶畑で茶つき娘による茶つきが行われ、また、園内の広場では茶つき踊りが披露される。(5月第3日曜日)	都市計画課	—

後楽園お田植え祭	伝統のお田植えと、田植踊りが披露される。(6月第2日曜日)	都市計画課	—
後楽園観蓮節	早朝午前4時から開園して、「一天四海(通称:大名ハス)」「大賀ハス(通称:二千年ハス)」等の開花の様子を鑑賞する。(7月第1日曜日)	都市計画課	—
後楽園夜間特別開園、夏の「幻想庭園」と秋の「誘い庭園」	園内をロウソクや照明で幻想的にライトアップする。また、夜間特別開園期間中には夏と秋の「おかやま桃太郎まつり」が開催され、岡山市と連携したイベントとして開催する。	都市計画課	23,888
後楽園名月観賞会	毎年十五夜(旧暦8月15日)にあたる日に行われる。お茶席が設けられる他、琴や尺八等の演奏が行われる。	都市計画課	—
後楽能	後楽園能舞台において能楽が行われる。(岡山県、岡山能楽会共催)	都市計画課	—
県立図書館資料整備費	図書資料の整備、視聴覚資料の整備	生涯学習課	171,230
博物館活動	常設展、企画展、特別展、博物館講座を行う。	文化財課	57,192
特別史跡旧閑谷学校管理運営	特別史跡旧閑谷学校の管理運営を行う。(指定管理者)	文化財課	5,030
遺跡&スポーツミュージアム管理	津島遺跡の展示室等の管理等を行う。	文化財課	2,980
埋蔵文化財公開活用	埋蔵文化財に親しむための普及啓発を行う。	文化財課	2,031

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
※ 犬養木堂記念館運営費	犬養木堂記念館の管理運営に要する経費	文化振興課	30,835
※ 岡崎嘉平太記念館運営費	岡崎嘉平太記念館の管理運営に要する経費	文化振興課	23,359
※ 日本伝統工芸展岡山会場	日本伝統工芸展(巡回)の岡山会場展を行う。あわせて岡山会場独自の企画を行い、伝統工芸技法を紹介する。	文化振興課	2,038
特別名勝岡山後楽園保存整備	特別名勝、史跡に指定されている岡山後楽園の保全、改修を行う。(H23～H26年度事業)	都市計画課	50,000
※ 岡山県民俗芸能大会	県内の民俗芸能団体による発表大会を開催する。	文化財課	700
県内遺跡調査	各種の公共開発事業予定地で事前に埋蔵文化財の調査を行う。	文化財課	2,000
文化財保護管理指導	県内の国指定文化財等(約200件)について、40名の保護指導委員を委嘱し、年間10回の文化財パトロールを行う。	文化財課	2,400
防災設備保守点検等	所有者又は管理団体が行う指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備等の保守点検等に要する経費に対し、県が1/2を補助する。	文化財課	3,001
国有文化財管理	県が文化庁から国指定史跡備中国分尼寺跡(国有地)の管理団体に指定されているため、見廻り看視、清掃等の管理を行う。	文化財課	716

岡山県近代和風建築総合調査	伝統的様式・技法で建てられた木造建築物の総合調査を行う。	文化財課	3,500
旧閑谷学校石塀保存修理	国指定重要文化財旧閑谷学校石塀の修理を行う。	文化財課	6,820
文化財保護保存費	県内における国指定、県指定文化財等のうち、老朽化等により保存修理の緊急性の高いものについて、計画的に保存修理等の支援を行う。	文化財課	79,590
久米廃寺跡管理	岡山県指定史跡の久米廃寺跡の草刈り清掃を行う。	文化財課	70
吉備路風土記の丘維持管理	吉備路風土記の丘及びその周辺地域にある文化財の保存をするため、維持管理を行う。	文化財課	11,978
津島遺跡史跡維持管理	津島遺跡における復元施設等の維持管理を行う。	文化財課	6,002
埋蔵文化財緊急調査受託	国等が行う各種土木工事に伴う埋蔵文化財発掘調査を国等から受託して実施する。	文化財課	34,469
※旧閑谷学校の世界遺産登録推進	旧閑谷学校の世界遺産登録推進に向けた取組を支援する。	文化財課	702

(2) 文化の力による地域づくりの推進

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
※景観形成推進事業	景観モデル地区の指定・届出指導、大規模行為の届出指導、市町村景観対策の推進等の総合的な景観対策に取り組む。	環境企画課	598
自然公園管理	自然公園施設等の管理を行う。	自然環境課	21,916
自然保護推進	県自然保護条例に基づいて指定した自然保護地域等の管理を行う。	自然環境課	1,110
自然保護センター管理運営	岡山県自然保護センターの管理運営を行う。	自然環境課	112,512
自然公園施設整備	国定公園や中国自然歩道など、各種利用施設の整備を行う。	自然環境課	33,000
タンチョウ将来構想推進事業	「岡山県におけるタンチョウ将来構想」に基づき、真庭市が整備するサブセンターへの支援、野外行動調査の実施	自然環境課	28,228
ヘルシーおもてなし料理(おいしーヘルシー提供店)開発事業	栄養成分表示の店登録事業の一環として、栄養バランスのとれた料理の開発に取り組んでいる。	健康推進課	—
B級グルメで地域活性化事業	地域のB級ご当地グルメ推進団体等と連携し、本県への誘客促進や地域活性化を図る。	観光課	4,492
おかやま地産地消推進事業	地域で生産されたものを、地域で消費する地産地消運動の推進	対外戦略推進室	2,117
県有林維持管理	模範的長伐期優良林の造成。 自然環境など広域的機能に配慮した施業の推進。	林政課	63,276
おかやま森づくり県民基金事業	里山保全ボランティアグループ等が行う自主的森林整備を支援し、里山の再生、保全を推進する。	林政課	9,500
木の香る憩いのまちづくり推進事業	観光地や商店街等におけるまちづくりでの県産材使用に助成する。	林政課	6,000

県民参加の森づくりサポート事業	地域の森林ボランティアグループ等の自主的な取組を推進するため、森林ボランティア活動をサポートする新たな仕組み作りを行い、県民参加の森づくりを推進する。	林政課	6,936
出会いとふれあいの水辺づくり事業	地域の「まちづくり・地域づくり」を推進するため、計画策定から完成後の維持管理まで地域住民参加型の河川環境整備を行う。	河川課	127,000
「企業局の森」整備事業	津山市加茂にある「企業局の森」では、災害に強く、安定した水源を確保することを目的に、針広混交林の整備手法により、様々な樹種が混在し、次世代、次々世代の樹林が存在する「循環型天然生樹林」の整備を地域の関係者等の協働で進めている。(H18年度から)	企業局 経営推進室	2,784

(3) 文化を活かした産業の活性化

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
※ おかやまコンテンツスクエア運営事業	これまでに構築された産学官連携の場を活用しながら、ポータルサイトを運用し、岡山ならではの地域コンテンツ情報の発信等を行う。	産業振興課	1,363
ITスマートビジネス普及推進事業	クラウドコンピューティングの利活用による新たなニーズに対応できる県内ITベンダの育成等を推進する。	産業振興課	7,586
※ 岡山デニム世界進出支援事業	デニム・ジーンズなど高付加価値繊維製品を製造する県内繊維企業が海外マーケットへの売り込みを目指して海外の展示商談会へ出展する経費への補助を行うことにより、海外市場での販路拡大を図る。	産業振興課	5,000
アジア市場攻略支援事業(震災等緊急雇用)	経済成長を背景とした富裕層増加により拡大が見込まれる中国高級品市場でビジネスチャンスを探ろうとする県内ジーンズメーカーの取組を支援するため、中国国内販売に強みをもつバイヤーが多数来場する香港等で開催される展示会に岡山県産ジーンズブースの出展等を実施す	産業振興課	10,581
広域観光推進事業	近隣府県と連携して、広域連携による観光誘客活動等を行う。	観光課	11,614
※ 地域発観光地魅力づくり支援事業	地域の体験・学習・交流型観光素材と県内のご当地グルメを結びつけた新たな着地型の観光プログラム開発を支援する。	観光課	5,894
国内共同プロモーション事業	首都圏に対して、観光関係団体と共同でトップセールスによる観光プロモーションを行う。	観光課	5,314
伝統的工芸品等物産振興事業	伝統的工芸品の普及と需要の開拓を図るため、「全国伝統的工芸品展」への出展のほか、PR等を実施する。	観光課	1,239
国際観光推進事業	本県への外国人観光客誘致を促進するため、トップセールスをはじめとした総合的なプロモーションを展開する。	観光課	35,734

3 文化でつながり魅力を発信する岡山(連携・交流・発信へ)

(1) 連携・協働の促進

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)
地域文化創造支援事業	市町村文化協会等が市町村域を越えて取り組む地域文化の創造の為に事業を支援する。	文化振興課	1,200
※ 岡山県博物館協議会	県内の文化芸術施設の相互連携により、地域文化の向上を図る。	文化振興課	5
※ せとうち美術館ネットワーク	瀬戸内海地域の芸術施設を相互にネットワークし、地域全体の文化芸術面の魅力を発信する。	文化振興課	—

※	岡山カルチャーゾーン 連絡協議会	岡山後楽園、丸の内及び天神町の周辺地域の文化施設の相互連携と地域の発展を図る。	文化財課	1,392
	岡山・高知文化交流事業「黒潮の国より来たる」	高知県の歴史と文化に触れる展覧会を開催する。	文化財課	3,359
	県立博物館博福連携事業	高齢者を対象に、民具等を活用した講座を開催する。	文化財課	500

(2) 文化交流の促進

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)	
	国際理解開催等事業	県内の高等学校等において、国際理解のための講座等を開催する。	国際課	—
※	友好提携地域との パートナーシップ交流 事業	中国・江西省、南オーストラリア州、インド・マハーラーシュトラ州地域、韓国・慶尚南道と、県民と協働して、幅広い分野での交流を進める。	国際課	13,922
	語学指導等を行う外国 青年招致事業	県・市町村の教育委員会が任用する外国語指導助手に関する取りまとめ事務を行うとともに、国際交流員を任用し、国際理解講座の開催等を通じて地域の国際化を推進する。	国際課	7,603
	おかやま国際情報ネット ワーク構築事業	4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)のホームページにおいて、外国人向けに岡山の魅力や情報をタイムリーに多言語で発信し、広く世界に岡山をアピールする。	国際課	32
	外国人支援事業	岡山国際交流センターにおいて、外国人が日本で生活するために必要な日本語学習のための講座を開催する。	国際課	—
※	中四国文化の集い	中四国文化の集いの中四国各県との共同開催する。	文化振興課	406
※	国民文化祭派遣事業	国民文化祭に参加する県内文化団体の経費を支援する。	文化振興課	2,266
	学校文化活動促進 国際文化交流事業	大韓民国、中華人民共和国の高校生との相互研修・交流	生涯学習課	1,775
※	中国・四国ブロック民俗 芸能大会	中国・四国ブロック各地域の貴重な民俗芸能を公開して、その価値を広く一般に周知する機会とする。その派遣旅費の一部を補助する。	文化財課	441

(3) 岡山からの文化発信

事業名	事業内容	課名	予算額(千円)	
※	岡山県「内田百閒文学 賞」	岡山にゆかりのある文学作品を隔年で全国募集し、優秀作品を表彰する。	文化振興課	6,857
※	文化創造・発信事業	県在住、県出身作家の活動や県文化施設の情報等の文化情報をラジオ番組として発信する。	文化振興課	2,741
※	文化情報センター運営 業務	ホームページ「おかやま文化の駅」を通じて文化施設や文化イベント情報を提供する。	文化振興課	1,350
	晴れの国岡山観光情 報発信事業	県民一押しの観光地や食などを巡る県下の新たな観光ルートの開発を行うなど、全県を挙げて地域発観光の取組を強化する。	観光課	1,805
	情報発信PR事業	おかやま旅まっぷなど観光PR素材を作成し、本県の観光の魅力を戦略的・効果的に情報発信する。	観光課	9,616

	フィルムコミッション事業	映画、TV等の映像制作の支援体制を整備し、本県のPR機会の増加を図る。	観光課	2,397
	吉備の国文化遺産映像記録作成事業	収蔵資料を中心とした、各時代を象徴する岡山独自の文化遺産を紹介する映像資料を作成する。	文化財課	1,000
※	「おかやまの文化財」ホームページ公開	県内全ての国・県指定文化財を紹介し、検索機能を備えたWebサイトを公開するとともに、逐次情報を更新する。	文化財課	—
※	「甦る！古代吉備の国～謎の鬼ノ城」調査	総社市に所在する謎の古代山城鬼城山内部の調査を行い、古代吉備国の歴史や伝統を全国に情報発信する。	文化財課	1,976

「第25回国民文化祭・おかやま2010」の成果

(1) 郷土の文化の魅力を再認識し全国へ情報発信

六古窯の一つ備前焼の産地で「陶芸の祭典」、刀剣のふるさとで「備前おさふね名刀フェスティバル」、また、農村歌舞伎伝承の地で「地歌舞伎の祭典」を開催するなど、地域固有の伝統文化をテーマにした多彩な事業に取り組み、本県の優れた文化を再発見、再認識するとともに、全国へその魅力を発信した。

(2) 地域の伝統文化の継承及び愛郷心の醸成

「神楽フェスティバル」や「盆踊りフェスティバル」、「民謡・民舞の祭典」などの開催を通じて、伝統文化の保存継承に対する認識の向上を図る一方、郷土ゆかりの先人の業績にちなむ「文芸祭（現代詩・漢詩）」、「科学フェスティバル」、「庭園「美の世界」」などを開催し、郷土への誇り、愛着心の高揚を図った。

(3) 郷土の歴史や文化に対する県民の認識の深まり

国民文化祭は、郷土の発展を支え、文化を築き上げてきた先人たちの足跡を振り返り、その業績を再認識する絶好の機会であることから、時代を切り開いた本県ゆかりの先人たちを取り上げた冊子「あっ晴れ岡山人」を刊行し、先人たちの英知を郷土の誇れる文化遺産として広く紹介した。

また、シンポジウム「地域と『文化』」、「古代吉備の風景」、「江戸時代の国際文化交流」では、本県ゆかりの人物の話を変えながら、世界の多様な文化や人のつながりを再確認して、世代や地域を超えた文化交流を一層促進し、文化の力により県民一人ひとりが生き生きと輝き、心豊かに暮らすことができる岡山県を創るきっかけとなった。

(4) 文化の担い手の育成と裾野拡大及び新たな文化創造の胚胎

次代の岡山文化を担う人材の育成を目指して、オープニングフェスティバルに出演するとともに、舞台の進行・転換役として活躍する若者を公募し、ステージ・ナビゲーター「あっ晴れ組」として養成した。また、美術展などでは体験教室やワークショップを開催して文化の楽しさを体感共有することにより担い手の裾野を広げることができた。

一方、国民文化祭の開催を機に、岡山県の芸術文化のさらなる向上発展を目指し、岡山県文化連盟が設立されるとともに、新しい舞踊や創作ダンスなどが誕生し、他の団体間との交流や競演、異分野とのコラボレーションも行われ、さらには、ミュージカルや能・狂言では若者や地域の住民が初めて舞台芸術に挑戦するなど、新たな文化創造に貢献した。

(5) 協働による取り組みと地域力、県民力の向上

一般から広く公募した「あっ晴れ！おかやま提案事業」では、県民が主体的、積極的に企画や運営に取り組み、また、岡山・倉敷・津山の市街地で多彩な事業を展開した「文化がまちに出る！プロジェクト」では、多様な団体との協働により地域住民の参画を促して盛り上げを図り、地域力、県民力の強化向上を図った。

(6) 開催経費の縮小と民間の支援

限られた財源で最大の効果と成果が生じるように工夫を重ね、県や市町村の主催事業に加え、県民による企画提案事業、企業や団体等が取り組んだ協賛事業や応援事業、職場や町内会等で企画されたおもてなし事業が県内至る所で展開され、まさに県民総参加の国民文化祭となった。先催県に比べ低額の開催経費で完遂したことは、「岡山モデル」と称すべく国民文化祭の開催形態に新機軸を開いた。

第3次おかやま夢づくりプラン（文化関係抜粋）

基本戦略Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり

1 文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム

概要

芸術・文化、スポーツ、生涯学習等に親しむ機会の増大やメニューの充実、ゆとりの創出等を通じて、県民が自らの嗜好に応じてこれらを楽しむ暮らしを創造し、その普及を図るとともに、地域の活力向上にも結び付けていきます。

暮らしやすさ指標

- 県文化施設利用者数 470,494人／年 → 700,000人／年
県民の文化活動の拠点となる県文化施設（県立美術館等6施設）の利用者数
- 県民文化祭参加者数 177,340人／年 → 350,000人／年

メッセージ施策

- 「文化がまちにある」プロジェクトの推進
おかやま県民文化祭の充実をはじめ、芸術・文化をテーマとした県民総参加による文化の祭典を繰り広げ、国民文化祭の開催により高まった県民の文化への関心や、県内各地で新たに始まった文化活動の取組を各地に根付かせ、伝統ある地域文化や新たに創造された特色ある文化を人々が身近に感じ育てていくことができる取組を推進します。
■岡山モデル 芸術家、NPO等とともに創りあげる「おかやま文化回廊」の展開

基本施策

【芸術・文化】

- 文化創造活動の企画・支援
県立美術館や県天神山文化プラザ等の文化施設の機能充実、人材の顕彰・支援、文化団体等の活動支援など
- 文化交流・文化発信の推進
美術館の連携によるアートツーリズム（※）や中四国各県との環瀬戸内海文化連携の推進、文化を通じた国際交流の支援など
（※）美術館や博物館などを探訪する旅行。欧米で定着している目的型旅行の一つ
- 未来へつなぐ！おかやま文化の担い手育成・支援
小・中学生を対象とした美術学習プログラムやワークショップの実施、若手芸術家の育成・支援など
- 文化財の保存・活用
文化財の保護保存、文化財講座、体験教室の実施、新県立博物館構想の推進など

ビジョン見直しの方向性について(案)

文化の振興に当たっては、平成22年秋の国民文化祭の開催により高まった県民の文化への関心や新たに始まった文化活動を地域に根付かせるとともに、伝統ある地域文化や県民の文化創造の力を守り育てていく必要がある。

こうしたことに加え、県政推進の羅針盤として、このたび策定した「第3次おかやま夢づくりプラン」に盛り込まれた施策を反映させることも必要であり、今回、次に掲げる点に留意して見直しを行う。

○基本的な柱は維持

「基本方針」や「施策の方向性」については、現行ビジョンをベースとする。

○重点施策の洗い直し

ビジョン策定後5年間の成果とその検証を踏まえて、重点施策を洗い直し、ブラッシュアップ

○策定後の変更点による修正

国民文化祭の成果を踏まえた記述の変更
第3次おかやま夢づくりプランの反映

ビジョン見直しのスケジュール(案)

H24

2月

文化振興審議会
新たな委員の選任、意見交換

6月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「方向性」について協議

8月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「素案」について協議

9月

※概ね1カ月

パブリックコメントの実施
ビジョン見直しの「素案」について意見を公募

11月

パブリックコメントの結果公表
寄せられた意見と県の考え方を公表

H25

1月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「最終案」について協議

2月

文化振興ビジョンの見直しを決定

岡山芸術回廊の開催について

1 事業概要

会 期：平成24年11月3日（土・祝）～12月2日（日） 30日間
会 場： メイン会場：岡山後楽園、岡山城およびカルチャーゾーン一帯
赤 磬 会 場：熊山英国庭園（赤磬市殿谷）
玉 野 会 場：宇野港東山ビル（玉野市宇野）
玉 島 会 場：遊美（ゆみ）工房（倉敷市玉島中央町）
主 催：岡山県、おかやま県民文化祭実行委員会
共 催：（公社）岡山県文化連盟、（公財）岡山県郷土文化財団

2 事業内容

① 展示・催事の概要

<メイン会場>

岡山後楽園 園 内 県内外の作家によるアート展示・ワークショップ、
仮面劇、和楽演奏等

東外園 音楽演奏、ダンスなどのパフォーマンス

岡 山 城 県内外作家によるアート展示、ダンス・演劇パフォーマンス

出石町内 県内作家によるアート作品の展示

学校跡（後楽館中学校・高等学校天神校舎跡、旧内山下小学校跡）

アート展示、演劇、映像上映、インフォメーションセンター

表町商店街・桃太郎大通り ダンスパフォーマンス、屋外演劇等

岡山県庁前 県立大学テキスタイルアート展示

岡山カルチャーゾーン文化施設連携事業

音楽演奏会、美術講座、講演会等

<赤磬会場、玉野会場> アート展示・販売、音楽演奏、シンポジウム等

<玉島会場> 海外作家の滞在制作、展覧会、交流事業

など

② 広報・誘客計画及び県民参加計画

5月 ボランティア募集開始（～7月）

6月 ホームページリニューアル、岡山駅前広告塔など屋外広告設置

7月 ポスター掲示、プロモーションチラシの配布

8月 ボランティア研修

9月 桃太郎大通りフラッグ掲出

10月 総合ガイド配布

11月～事業実施

3 その他

開催期間中、カルチャーゾーン内の展示・観覧施設に入場できる共通券を販売

利用施設：岡山後楽園・岡山城・岡山県立博物館・岡山県立美術館・岡山市立オ
リエント美術館・林原美術館・夢二郷土美術館 計7施設

(参考)

平成23年度プレ開催の概要と結果

会 期：平成23年11月13日（日）～12月2日（日） 22日間

会 場：岡山後楽園、岡山城及びその周辺

主な内容：後楽園内 アート展示「よりそうけしき-自然と芸術とのあいだで-」

(出品作家8名)

影絵劇 「月の森」 園内藤棚で延べ3日・6回公演

仮面劇 「花交が池」花交の池で延べ3日・6回公演

サヌカイトと和太鼓の競演 延べ2日・6回公演

川辺ダンス 旭川河川敷で延べ3日・12回公演

吟剣詩、パンフルート、タップダンスなど 2日間

岡山城でのアート展示

表町商店街 恐竜たちのパレード、美術家協会作家の76作品展示など

出石町 31店舗での作品展示、岡山県立大学学生作品展示、

来場者：64,414人（後楽園・岡山城来場者）

第2回おかやま文化フォーラムの骨子について（案）

「見えてきた古代吉備の実像～瀬戸内海と鬼ノ城～」(仮題)

1 開催日時 平成24年11月10日(土) 12:50～16:20

2 開催場所 岡山県立大学講堂 定員650名

3 趣 旨

2013年(平成25年)の美作建国1300年に向け、備前、備中、美作の順に3年わたり「古代吉備」をテーマとするフォーラムを開催し、「美作国建国1300年祭(仮称)」に向けた機運の醸成を図ることとしている。

第1回 備前 平成23年11月12日(土) 岡山県立美術館ホール

第2回 備中 平成24年11月10日(土) 岡山県立大学講堂

第3回 美作 平成25年11月9日(土) 津山市内で開催予定

4 第2回の構成

備中神楽 → 基調講演 → 事例発表 → パネルディスカッション

※備中神楽は備中神楽伝承研究会(会長 妹尾賢治)出演予定

5 基調講演

鈴木靖民(すずきやすたみ)先生 [横浜市歴史博物館館長、元國學院大学教授]
演題 「古代における東アジアと日本の交流史」(仮題)



1964年國學院大學文学部史学科卒業 同大大学院修了
専門分野 日本古代史、東北アジア古代史
朝鮮・中国・ロシア沿海地方など隣接地域との関係を主とする
1～10世紀の日本王権・国家史を研究テーマとしている。
著書『倭国と東アジア』『倭人のクニから日本へ』他

6 事例発表

平井典子(総社市教育委員会文化課 課長補佐)

鬼ノ城の築造の背景や最新の発掘状況の紹介

岩崎充宏(山陽新聞文化部 副部長)

長年にわたって携わった古代吉備関係の報道やトピックス、学術の話題等

7 パネルディスカッション

コーディネーター 神崎宣武先生(民俗学者、夢づくり顧問)

パネリスト 鈴木靖民先生(横浜市歴史博物館館長、元國學院大学教授)

平井課長補佐(総社市教育委員会文化課)

岩崎副部長(山陽新聞文化部)